

「香川のいじめをゼロにするためにできること」について

【小学生】

- 今回のいじめゼロサミットで、これから自分がリーダーとして、いじめをなくしていくためにがんばらなければならないと感じました。
- いじめはなくなったと思っても隠れていたりするし、いじめられている人も相談しなかったりして、いじめの発見が遅れ取り返しのつかないことになることがあります。だから、学校や家族の人は、いじめをしている子、されている子が話しやすい環境を作っていってほしいと思います。また、私たちは友だちのいじめに気づいて理由を探し、いじめが何度も起こらないよう呼びかけるなど積極的に取り組んでいきたいです。
- まず全体でいじめはいけないことだということを知ってもらい、そしていじめになる原因を見つけることから始めたいです。

【中学生】

- いじめをゼロにすることは難しいと思いますが、まずは集会を開いていじめについて深く話し合うなど身近なことから行動していけばいいと思います。身近なことができたなら地域へ、地域ができたなら香川へとどんどん進出していき、少しずついじめをなくせばいいと考えます。
- やはり身近な小さいいじめからなくしていくことが大切だと思います。少しの悪口、少しのからかいが大きいいじめに発展し、命をうばうことになってしまうかもしれないので、自分から少しでもとめていきたいと思いました。
- いじめをゼロにすることは難しいけれど、なくすためにたくさんの人に今の自分の思いを伝えたいと思います。
- 子ども会議で本音で語り合っ、いじめられている側の意見だけでなく、いじめている側の意見も平等に聞くことが必要だと思いました。
- こうやって香川県からいじめをゼロにするために発信する行動をもっともっと広げていきたいです。

【教員】

- 今日のように、県下でのサミットを開くことで意識を変えることができると思います。ただし、参加した一部の生徒にとどまっていたのでは波及しないため、今回のサミットで見たこと、考えたことを生徒全員にフィードバックする場を作る必要があります。教員として、そのような場を作っていきたいと思います。
- 教員の資質向上。いじめを発見した場合は本気で指導する。学校や学級単位から個々のレベルまで落とし、いじめに関して1人1人が考えること、対話をする必要があります。
- 各学校で実際に取り組んでいることを紹介したり、子どもならではのアイデアを紹介したりと、よく考えていじめがなくなるように話し合い、発表していた。11月に取り組んでみたいと思うものもあったので、本校でも実施したい。
- このようにじっくりといじめについて考える場を学校、学級、家庭などさまざまな場所に広げていくことが大切だと思います。ぜひ本校の人権集会や学級活動にも活かしていきたいです。また、いじめをしてしまう子どもは何か原因、理由があり寂しい思いやつらい思いを抱えていて誰かに助けを求めているのではないかと思います。そういうサインに周りの人たちが少しでも早く気付いてあげ、寄り添ってあげることでいじめという手段で自分の気持ちを表さずにすむのではないかと思います。家庭の事情にはプライバシー保護のこともありなかなか実態にふみこめない部分もあるので、多くの関係機関の協力も必要だと痛感しています。

【保護者】

- 深刻ないじめは巧妙かつ陰湿。大人にばれないようにしているいじめは、やっている本人も自覚していると思います。(だからこそばれないようにしているのしょうから)しかし、周りの子どもたちは知っているのです。子どもから大人へ伝えやすい雰囲気、手段を考えてそれを実現していくことも必要だと思います。
- 子どもたちと先生と保護者が、いつでも相談できる環境を作ることが一番大切だと思います。学校の中では子どもたちが先生に言える時間をとってほしいし、家庭の中でも学校の中で問題になっていることを子どもと一緒に話せる時間を持つべきだと思います。
- 初め緊張した雰囲気でしたが、だんだんうち解けて話し合い、意見を言い合っている様子がよかったです。自分の考えをもち、相手に伝えたり、また、相手の考えを聴き理解しようとしていたりしていました。子どもたちに勇気もらいました。

【一般】

- 今日のような県をあげてのサミットを継続していく。今日取組を参加した児童生徒が自分たちで情報発信していく。(大阪府から)
- NHKニュースを見て、短い映像でしたが皆の真剣な気持ちが頼もしく見えました。そして男の子の発言「英語の先生に相談する理由」また、「見方を変えた相撲の話」は、ポイントを押さえた分かりやすい切り口でした。大人達の手も必要でしょうが、自分たちの世代が、自分たちの頭と感性で解決に努力することはすばらしいことです。閉鎖的な世界に拘らず、夢高く思い高く外の世界に踏み出して欲しいと期待します。狭い世界でいじめをしているのはもったいない!いじめがなくなり、皆それぞれの才能が輝き光ることを祈っております。(滋賀県から)

この会を運営した実行委員の児童生徒に一言

【小学生】

- 実行委員さんのおかげで考えたことがないことを深く考えられたので良かったです。
- お疲れ様でした!このサミットを通して私は他の学校の人の考えや行動を知ることができ、いろんな考え方ができるようになったと思います。また、交流活動「解答なんだいゲーム」などはぜひ使っていきたいと思います。

【中学生】

- このすばらしいサミットを開くことができたのは実行委員の方々のおかげです。
- 実行委員の方、ありがとうございました。実行委員の方のおかげでスムーズに快適に話し合うことができました。また進行の仕方がうまくて尊敬しました。見習いたいです。

【保護者】

- いじめをなくそうという真剣な思いが伝わってきました。とてもすばらしく運営されていて、我が子も何らかの影響を受けたと思います。ご苦労様でした。
- お疲れさまでした。思いやり戦隊フレンジャーの歌、心に響きました。涙が出ました。勇気が出る歌だと思います。

【教員】

- 本当にお疲れ様でした。集団を動かすためにはたくさんの準備期間と細かい計画が必要であったと思います。本日の会では、実行委員が進んで堂々と発言をし、場を和ませ、臨機応変な対応ができていたと思います。皆さんが今回、「いじめゼロ」のために真剣に考えたことや、運営のために費やした時間はきっと皆さんの財産になると思います。有意義な時間をありがとうございました。
- 誰かが始めなければ何も変わりません。そのために勇気を出して、大切な最初の一步を踏み出してくれたことに心から感謝するとともに、この活動が1滴の水滴からやがて川となり大きな力となるように、自分たちの学校でできることを考え、実行していこうと思います。
- 白熱した記者会見での堂々とした受け答えがすばらしく、考えさせられることが多くありました。子どもたち一人ひとりが自分と向き合い、いじめについて整理できていたことはすばらしかったです。
- 自分たちの力で解決しようとする意気込みを感じました。これから先、様々な問題に対してもっと子どもたち自身にしっかり考えさせたいと、今日の様子を見て思いました。
- 一人ひとりが役割をもって誠実に取り組む姿に感心しました。どの子もすてきな笑顔で仕事をしていました。子どもたちが全面に出ている会として工夫されており、陰で共に企画運営された先生方もお疲れさまでした。
- 香川の児童生徒のパワーはすばらしい。子どもたちの力でこれだけ内容の濃いすばらしい会が開けたことは本当にすごいと感じました。勇気と元気をいただきました。

実行委員から

- 学級委員じゃなくても生徒会に入らなくても、私は参加しました。このような会があればまた参加したいです。
- 来年もまた参加したいです!!たくさん意見が言えるようにがんばりたいです!
- 「なぜ、発足当時から参加しなかったのだろう。もっとみんなで何か一つに取り組みたい、もっと仲間を増やしたい!」と思いました。発足当時に戻ることは不可能なので、僕は高校生部会をつくってほしいと思います。たった2年の間しかこのサミットに参加していない僕でも、伝えられることはあると思います。来年は高校生ですがよければぜひ声をかけてください。